

今年の冬は、いつもと違う冬です。依然として、新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。感染リスクの高まる「5つの場面」に気をつけて行動し、感染拡大を防止しましょう。

(引用：内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室)

## 「5つの場面」に気をつけよう

- 1 飲酒を伴う懇親会
- 2 大人数や長時間の飲食
- 3 マスクなしでの会話
- 4 狭い空間での共同生活
- 5 居場所の切り替わり

換気を良くして  
三密を避けよう!



いつでもマスク  
手洗い・消毒忘れずに!

※居場所の切り替わり…仕事の休憩時間に入った時、休憩室や喫煙所、更衣室など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により感染リスクが高まる場合があります。

年末年始の  
感染防止対策  
くわしくチェック

感染リスクが高まる「5つの場面」  
年末年始特設サイト

(内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室)



## 新型コロナウイルス情報

### 発熱などの症状がある場合の受診方法

発熱などの症状がある場合は、埼玉県ホームページにある「埼玉県指定 診療・検査医療機関」に連絡・事前予約をして、受診してください。

#### 埼玉県指定 診療・検査医療機関

下記 URL または右 QR コードで、受付時間などを確認し、連絡・事前予約をして受診してください。



#### ●埼玉県感染症対策課 HP

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/hpsearch.html>

HP が  
見られない。

こんな時は

連絡先が  
わからない。

#### 受診・相談センター

☎ 048-762-8026  
FAX 048-816-5801  
9:00 ~ 17:30  
(月曜～土曜※祝日含む)

#### 県民サポートセンター

☎ 0570-783-770  
FAX 048-830-4808  
(24 時間・土日祝日も受付)

### 一定の高齢者等への PCR 検査費用補助 健康増進課 270

身近な生活活動の場（家庭、会社、飲食店、サークルなど）で、新型コロナウイルスの感染者または有症状者（発熱、咳などの風邪症状等）が 1 人発生した際、下記の人を対象に PCR 検査費用を補助する事業です。

対象 ※①②の両方に該当する人

①三芳町に住民登録のある 65 歳以上の高齢者、または 65 歳未満で基礎疾患（\*）がある人。

（\*）基礎疾患…慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心疾患、肥満（BMI 30 以上）

②身近な生活活動の場で感染者や有症状者が発生した際に、県が実施する PCR 検査の対象にならない無症状者で、PCR 検査を希望する人。

注意事項 検査を受ける前に、健康増進課健康支援担当へ申請書類の提出が必要です。

必ず本事業の利用前に、町ホームページにある PCR 検査に関する説明書を確認ください。

一定の高齢者等への  
PCR 検査事業  
(町 HP)



令和 3 年  
3 月 31 日  
まで

### 年頭のごあいさつ

新年明けましておめでとう  
ございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界は、不安と恐怖と閉塞感に覆われた一年でした。

新しい年を迎え、コロナ感染が終息し、長い暗いトンネルを抜けて光輝く日々が戻ってくることを願ってやみません。

歴史を振り返れば、人類が生命の危機に直面したのは、これが最初ではありません。今から 100 年前のスペイン風邪では、世界中で 5 億人が感染し 5000 万人が死亡、日本も当時の総人口 5600 万人のうち死者は 50 万人に上ったと言われます。

人類の歴史はウイルスとの闘いの歴史でした。その闘いに打ち勝って、あるいは共生して、人類は前進してきました。

### 「百折不撓」

心が百回折れてもくじけな

いという意味です。どんな困難にも屈しない。百篇倒れたら百篇立ち上がる。これが人類の DNA だと言われています。

自らの DNA を信じ、輝く未来の三芳町を切りひらいてまいります。

今年も、延期となった東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催されます。三芳町はオリンピックではオランダの女子柔道チームのホストタウン、パラリンピックではマレーシアの共生社会ホストタウンになっていきます。コロナ対策には万全を期し、一つでも多くのメダルが獲得できるように支援するとともに、選手との交流を通じて共生社会実現に向けてレガシーを遺していきたいと思えます。

町主要施策としては、関越自動車道三芳 PA のスマート IC フル化ではアクセス道路の工事が始まり、さらに企業誘致に力を注いでまいります。また、藤久保地域拠点整備

事業では、基本計画が完成します。

武蔵野の落ち葉堆肥農法は、1 月に最終プレゼンが行われ、2 月には世界への切符を手に入れることができるか期待しているところです。

また、住民要望により進めていた障害者福祉施設「太陽の家」・「令和の森公園せせらぎ水辺広場」も完成します。

昨年 8 月に発刊された雑誌『アエラ』ではコロナ後の移住先自治体ランキングが発表されました。埼玉県で 1 位、関東で 4 位でした。

今後、さらに住んでよかった三芳町、魅力あふれ、喜びいっぱい、幸せになれる町をめざして街づくりを進めてまいります。

今年一年が、皆さま方にとって、幸多き年になりますことを祈念しまして、新年のご挨拶に替えさせていただきます。

三芳町長 林伊佐雄

